

コミュニティ・スクールの 活動を振り返る ～地域と共にある学校へ～

榛原中学校ではコミュニティ・スクールを本年度（令和3年度）から本格導入しました。学校運営協議会で経営方針が承認され、学校からの協力依頼や地域からの要望など、地域と学校がともに手を取り合って教育活動を展開する制度が動き出しました。本年度は初年度ということもあり手探りの状況ではありましたが、多くの皆様のご支援・ご協力をいただき、学校の応援団が形成されました。

生徒も「私たちの学校生活を支えてくれている皆さん ありがとう」と廊下の掲示コーナーに感謝の気持ちを表わすコメント入りの写真を掲示し、コミュニティ・スクールの活動を価値付けしてくれました。

環境整備への支援



仁田友仁会の皆様には年間にわたり除草・樹木の伐採・土砂の除去等を行ってくれました。広大な面積を有する榛中はPTAと友仁会の皆様が環境整備の両輪となっています。

元PTA会長の須藤様による草置き場の除去作業が行われました。猛暑の中、自前のユンボとトラックを使ってきれいにしてくれました



50周年記念事業への支援



スクリーングネットシステムを導入し、式典の様子を全家庭に配信することができました。
同窓会から寄贈された体育館用椅子300脚に、シールを貼ってもらいました。

榛原中学校誕生から51年が経過しました。その間校舎建築や体育館・プール・グラウンド整備など、設備拡充に関する沿革や生徒の活躍の様子を冊子にまとめ、「榛原中学校50年間のあゆみ」として校区の全戸へ配布しました。



放課後学習会への支援



10月から毎週水曜日に放課後学習会が始まりました。1年～3年まで4教室に分かれ、8人のボランティア講師が生徒一人ひとりの学習状況に応じ丁寧に支援をしてくれました。3月まで計画されていましたが、コロナ感染大防止のため1月より休止しています。

理科部への支援



塚本行博様は週に1, 2度, 来校し作物の管理をしてくれています。部活動のある日には、土作りや栽培方法、施肥の仕方を科学的に教えてくれます。